

優良PTA文部科学大臣表彰を受賞！ 本町小学校PTA



▲表彰状を持つ金子会長

11月19日、本町小学校PTA(金子祥史会長・会員119人)が、優良PTAとして文部科学大臣表彰を受けられました。平成16年にも受賞されており、今回で2度目。“コミュニティ・スクール”として地域・学校・保護者が連携して取り組んでいる茶摘みや炭焼きなどの体験活動、県外の小学校との交流などの取り組みが高く評価されたもの。金子会長は「受賞は先輩方のおかげです。今後も継続していきたいです」と話していました。

赤ちゃんのかわいい土俵入り 礎石ふるさと祭り



▲赤ちゃんの土俵入りのようす

12月6日、新和町の礎石地区コミュニティセンター一帯で「第38回礎石ふるさと祭り」が開かれました。同祭り実行委員会が毎年実施しているもの。相撲場では、3歳から小学生までの30人が白熱した相撲をとったほか、8人の赤ちゃんが手作りの化粧まわしを身につけて土俵入りを披露。地元産の大根の袋詰め放題やステージでの芸能発表なども行われ、多くの人出でにぎわいました。

潮風かおる天草路を力走 天草マラソン記念大会

「第10回天草マラソン記念大会」が11月15日、本渡運動公園陸上競技場前をスタート、同競技場をゴールとする日本陸連公認コースで開かれました。県内外からフルマラソン(42.195km)に1,690人・ハーフマラソン(21.0975km)に1,814人の3,504人が参加。選手たちは沿道からの声援を受けながら、潮風かおる天草路を思いおもいのペースで走っていました。また、ゲストランナーの猫ひろしさん(タレント・カンボジア国籍のマラソン選手)が大会を盛り上げたほか、同競技場では地元の物産販売や福引き付きもち投げも行われ、多くの来場者でにぎわいました。



▲一斉にスタートする選手たち



▲フルマラソンの1位でゴールする齊藤選手



▲沿道の声援者とハイタッチをする猫さん

大会結果	フルマラソン男子	齊藤友章(菊陽町)	2時間28分47秒
(1位のみ)	フルマラソン女子	根岸まゆみ(熊本市)	3時間10分23秒
敬称略)	ハーフマラソン男子	池島篤史(熊本市)	1時間12分7秒
	ハーフマラソン女子	船田佳那(美里町)	1時間29分27秒

戸締まり用心、火の用心！

手野保育所の園児などによる火災予防PR活動



▲パレードを行う園児たち

五和町の手野保育所“たけのこ幼年消防クラブ”の園児10人と消防署員などが11月12日、地元で「火災予防PR活動」を行いました。秋の全国火災予防運動にあわせて毎年実施しているもの。はっぴに身を包んだ園児たちは、拍子木を鳴らしながら「戸締まり用心、火の用心」の大きな掛け声で元気よくパレード。地域住民にチラシを配布して火災予防を呼びかけていました。

日本とポルトガルの交流を深めたい

駐日ポルトガル大使来訪



▲シンポジウムで講演をする大使

11月25日から同27日まで、駐日ポルトガル大使のフランシスコ・シャヴィエル・エステヴェス氏が市を訪れました。天草宝島起業塾の元受講者で組織する団体が、国の事業を活用し地域経済活性化に関するポルトガル人などの専門家14人を招いたことにあわせて、訪れたもの。大使は世界遺産候補の崎津集落を視察し、天草文化交流館で行われたシンポジウムで講演を実施。「日本とポルトガルは以前から交流があり親しみがある。今後も交流を深めたい」と話していました。

新鮮な農・水産物が大集合！

有明うまかもん収穫祭



▲イチゴを購入する来場者

「第11回有明うまかもん収穫祭」が11月22日、有明町民センターで開かれました。同祭実行委員会が、産業・地域振興を目的に毎年実施しているもの。地元でとれた新鮮なイチゴやレタス、ヒジキ、テングサなどの農・水産物の展示即売会が行われたほか、ステージイベント、お楽しみ抽選会などを実施。最後にはもち投げも行われ、地域住民など500人の人出でにぎわいました。

美しい夕陽と歌声に感動！

夕陽コンサート&夕陽鑑賞会



▲コンサートのようす

11月15日、天草まちづくり協議会主催の「夕陽コンサート&夕陽鑑賞会」が天草町下田北の天草ブルーガーデンで開かれ、観光客など150人が来場しました。天草灘と夕陽を一望できる展望デッキで、ミュージシャンのMaL with Ray Yamadaや長瀬つもりさんによるコンサートを実施。来場者は海に沈んでいく夕陽を眺めながら、歌と演奏に聞き入っていました。